

加盟団体各位様

お手数ですが受信されましたら、ご担当におわたしてください。

右京社保協事務局（川村）

空(時代と世界)をみて、地(右京)をふみしめて！ 社会保障制度の拡充と活用を！

## 右京社保協事務局通信

2025. 1. 27

京都市右京区西院上花田町 36-3 右京民主商工会内 TEL 075-312-2257 Fax 312-2439

◇**貧困と格差の拡がりの中、その一方では新たな政治プロセスの開始を実感できる事例も生まれる年始ともなりました。以下、1月度幹事会で尾崎会長があいさつで触れられた介護分野での特徴的な出来事を紹介します。情勢を生かした「社会保障制度の拡充と活用」をスローガンに「一皮むけた運動」への成長と躍進の2025年に！**

☆介護事業所倒産が最多を更新し、訪問介護空白自治体が半年間で10増加し107市町村になる一方で

(しんぶん赤旗1月9日付から転載)

新潟・村上市(人口5万4千人)は介護報酬の引き下げによる減収分を昨年4月の改定時に遡って独自に補助することを全国初で決定。内容は、政府が引き下げた報酬額を事業所に支払い、加えてガソリン代など燃料費を支援し、遠方の訪問介護には上乗せをするというもの。9月度市議会で、共産党市議が事業所の実態を告発し、国に引き下げ撤回を求める意見書を全会一致で可決、そして支援

金制度を盛った補正予算(介護保険給付等準備基金の取り崩し)を12月議会で可決。高橋市長は、「支援にあたっては国が減らした介護報酬を自治体が上乗せしているのか、考えました。だけど学校給食や子ども医療費は独自に応援していますね。それと同じだと決断しました。基金があったから取り崩しましたが、なければ一般財源を投入してでもやったと思います」と述べています。

◇**あなたも自主申告を！ 「税金とくらし」なんでも相談会の成功を  
今年度は弁護士さんのご協力で、無料法律相談も**

昨年度の相談会には2会場で30件の相談が寄せられ、学習会には29名参加されました。今年度はインボイス制度の影響が丸1年間関わってくる初めての確定申告であり、2024年定額減税と調整給付金という特例制度も加わり、例年にも増し自主申告が大切になっています。

今年度は、両会場で学習会の開催と無料法律相談が実現しました。区民向けビラ配付も昨年同様に手配しています。右京民商や京建労右京支部はもとより右京生健会、年金者組合右京支部などでも独自の取り組み(問い合わせは各団体に)も含め、力を合わせましょう。

**相談会の会場と日時 相談の受付は当日とします**

○コープさかの集会所 2月15日(土) 学習会13時30分～ 相談受付14～15時

○右京ふれあい文化会館 2月23日(祝) 学習会13時30分～ 相談受付14～15時

**3・13 重税反対全国統一行動**

○右京区民集会 3月13日午後(時刻未定) ラポール京都ホール

集会後にパレード、集団申告などを予定(詳細は2月度幹事会で検討)

★2月度幹事会 開催日時は調整中です。後日連絡します。

①学習と交流 ②自主申告&なんでも相談会、重税反対統一行動について ③当面の諸要求運動について